

《教育目標》 **自律・友愛・創造**

**「自らを律し、なかまを大切に、創造性豊かな人」**

自らを鍛え、責任ある行動をとり、互いの立場を認め合い、ともに支え合い、高まりあう「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

本校のHP…<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=201407>

★「生きる力」を伸ばし、「自信と誇りにみちた生徒」を育成していく中で、生徒一人ひとりが持てる力を発揮し、各自の自己評価を高めるために創意工夫ある教育活動を実践する。(輝く松原づくり)



平成28年11月28日発行

文責 宮田 功

**高大接続改革**

12月には三者懇談会を全学年で実施します。とくに3年生は大切な進路先を決定する時期となり、自分の適性と将来像をしっかりと見据え、よりよい進路選択となるようにしていきましょう。皆さんの中で高校受験のような試験は、はじめての経験という人も多いと思います。ただ、今後は大学受験や入社試験等を受けることになる人も少なくありません。今回は、高校受験の先にある大学入試について書いていきます。

大学入試と聞いて、まず「センター試験」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。現在、中学2年生の人が大学を受験する2020年度より、今のセンター試験は廃止され、新しく「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」を導入する動きが文部科学省では進んでいます。従来の知識偏重型のテストから、知識を前提にそれを活用する思考力・判断力・表現力を問うテストへと変えるのが要点です。

具体的に変わるのは、従来のようなマーク式の問題に加えて記述式の問題が導入されることです。記述式導入の対象教科は当面「国語」と「数学」とされていて、設問の条件に沿って短文で解答する問題となる予定です。従来のマーク形式の問題に関しても、複数の資料から様々な情報を組み合わせる必要のある問題や正解が1つに限られない問題など、より思考力・判断力を重視した出題が検討されています。基本的な知識等が定着していることを前提に、より高度な能力が求められることとなります。この「大学入学希望者学力

《裏に続きます》

日	曜	行事等	
1	木	ミラストア 17:30~(「ミ」)	
2	金	6限 新入生保護者説明会	
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		「ミ」
7	水		
8	木	1年確プロ・オープンスクール(小6対象)・「ミ」	
9	金	1年確プロ・給食×切	
10	土		
11	日		
12	月		
13	火	2.3限 1年染め体験 「ミ」	
14	水		
15	木	三者懇談会(1年のみ)・3年家庭科ふれあい体験・「ミ」	
16	金	全学年三者懇談会(~21日)・3年家庭科ふれあい体験・5組鉄道博物花冠	
17	土	<b>中京支部生徒会交流会</b>	
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		学年集会
22	木	トークイン松原 第Ⅱ期修了	
23	金	<b>天皇誕生日</b>	
24	土		
25	日		
26	月	冬季休業(~1月5日まで)	
27	火		
28	水		
29	木		学校閉鎖日(~1月3日まで)
30	金		
31	土	<b>大晦日</b>	

**1月の予定**

6日…第Ⅲ期開始

11~13日…美化点検

16日…研究授業・研究協議

19日…評議専門委員会

23~25月…3年第五回定期テスト

31日…2年確認プログラム

評価テスト」はセンター試験と同様に一般入試の第一関門ですが、成績を1点刻みではなく、数段階のランク表示にし、その後に各大学が2次試験で、部活動・ボランティア活動などの体験や主体的な学習経験等を評価する「面接」や論文試験を行い、これらを総合しての合否判定となっていく予定です。

この入試改革においては、覚えた知識をペーパーテストで再現する<狭い学力>だけでなく、思考力・判断力・表現力、さらには、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）も含めた、幅広い学力が求められます。これら「学力の三要素」をバランスよく評価して入学者を選抜し、そうした力を入学後さらに伸ばして、「社会で活躍できる力にまで引き上げよう」というのが、この入試改革のねらいです。ちなみに、学力の三要素とは、①「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、②「これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力など」、③「主体的に学習に取り組む態度」のことで

この入試改革で、大学側に採点の負担をかけてまで、記述式問題や面接等を導入しようと検討していることに加え、英語で民間の資格・検定試験に委ねてまで「聞く」「読む」だけでなく「話す」「書く」も含めた4技能を課そうとしているのは、すべて、そうして幅広い学力を問うためなのです。さらに、「面接」の導入のように人物重視の入試へとシフトしようとしているところもポイントです。一方、入試改革とともに、これに対応できるようにするため、次期学習指導要領では、授業をアクティブ・ラーニングとしていき、「主体的・対話的で深い学び」に改善しようとしています。これにより、教科の内容と体験活動を有機的に結び付けることが、ますます求められていきます。

これからの大学入試改革に対応するためには、生徒たちが様々な体験活動のできる機会を与えていく家庭や地域や中学校であることが、今まで以上に重要な使命となっていくと考えられます。

<p><b>新人戦の結果（一部のみ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野球部 ベスト8</li> <li>・女子バスケット部 ベスト16</li> <li>・女子ソフトテニス部 3位</li> <li>・剣道部 個人で府大会出場</li> </ul> <p>1年男子 野村君・2年女子 住野さん</p> 	<p><b>壬生狂言を鑑賞</b></p> <p>10月6日（木）に、地域の皆様の協力のもと、全校生徒で壬生狂言を鑑賞に行きました。毎年、2年生で「壬生狂言に学ぶ」を実施し、地元の伝統芸能を知る取組を行っています。3年に一度は、大念仏堂に行き、鑑賞させてもらっています。</p> 	<p><b>生徒会選挙</b></p> <p>10月21日（金）より生徒会本部役員立候補者の選挙運動が始まり、26日（木）に立会演説会の後に投票が行われ、立候補者全員が信任されました。</p> 
<p><b>1年生「手描き友禅」と「型友禅」</b></p> <p>伝統文化教育の一環として、総合的な学習の時間にそれぞれを体験しました。伝統工芸士の方の指導のもと、どの生徒も真剣に取り組んでいました。</p> 	<p><b>2年生生き方探究チャレンジ体験</b></p> <p>11月8日（火）～11日（金）に、多くの事業所の協力により実施できました。よい体験が得られ、無事終了することができました。</p> 	<p><b>3年国際交流</b></p> <p>10月28日（金）の5、6限に京都府名誉友好大使として、4名が来校され、各クラスで交流していただきました。</p> 
<p><b>1年・3年5組 合同運動会</b></p> <p>11月15日（火）に、島津アリーナ京都で、育成学級の合同運動会が実施され、本校からも2名が、玉入れなどの競技に頑張っていました。</p> 	<p><b>中京ふれあいまつり</b></p> <p>10月30日（日）に開かれ、中京区の中学校生徒会が、ブラバンキーホルダー作りなどで、ボランティアとして参加しました。</p> 	